

行田環境市民フォーラム 第33回公開学習会

テーマ：『海洋プラスチックごみ問題とマイクロプラスチック』

講師：埼玉県環境部水環境課 主査 鈴木 健太 氏

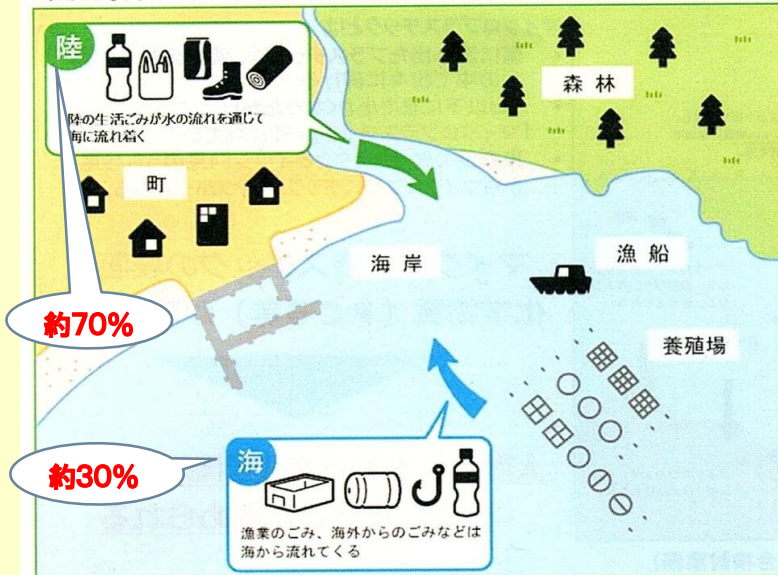
マイクロプラスチック(ナノレベル)は、魚の体内から人体に取り込まれる。

例えば、イワシ・さんま等の内臓ごと食べる事が、好きな人も多い。

2050年には、海のプラスチックの量が魚を越えると言われている。

まだ実験室レベルだが、環境ホルモンバランスが崩れ、
生物に影響する事が懸念されている。

図：海洋プラスチックごみはどこから来るのか？



抜粋(環境省 平成29年度漂着ごみ対策総合検討業務)

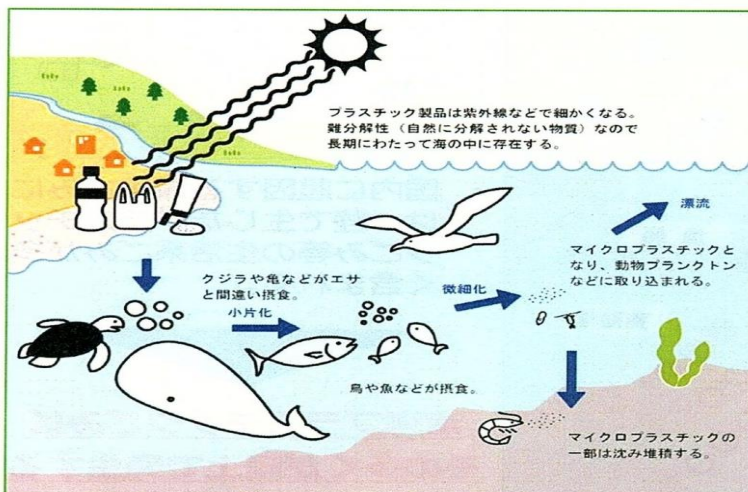
ゴミだらけのクジラ？



川岸のごみ！



図：マイクロプラスチックが「発生する仕組み」と「海の中での動き」



抜粋(環境省 平成29年度漂着ごみ対策総合検討業務)

マイクロプラスチックとは

- 海に流れ出たプラスチックは、紫外線や海の流
れの中で粉々に砕ける。
- 5mm以下にまで小さくなったかけらは
「マイクロプラスチック」と呼ばれている。
- 東京湾で釣ったカタクチイワシ64尾のうち49尾
からマイクロプラスチックが見つかった。

マイクロプラスチックの表面に
化学物質 (P C B 等) が吸着する

人間 (ヒト) への健康影響は不明
今後、研究等が進められる

開催日時 : 2020年3月8日(日) 午後1時30分~3時
 集合場所 : 行田教育文化センター(みらい第2会議室)
 定員 : 先着50名、電話、Fax、Eメールでお申し込みください。
 参加申込 : 中村まで ☎090-1778-4062 Fax:048-554-1167
 Eメール:green.hiro39@gmail.com

| | | | | | |
|----|--|----|--|---------|--|
| 氏名 | | 住所 | | Tel/Fax | |
| 氏名 | | 住所 | | Tel/Fax | |
| 氏名 | | 住所 | | Tel/Fax | |